

外国人児童生徒の日本語教育の推進について（平成 28 年度当初予算：93,710 千円）

1 目的

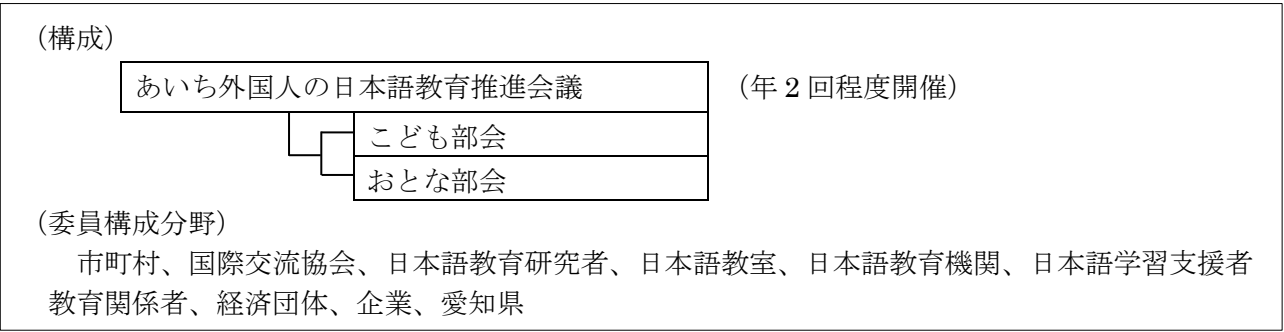
外国人児童生徒の増加及び多国籍化に対応するため、日本語学習教室の運営支援や指導者の育成、平成 20 年度に造成した日本語学習支援基金の再造成等の施策により、外国人の児童生徒に対する日本語教育を支援する。

2 実施内容

(1) 外国人児童生徒日本語教育事業費【愛知県実施】（7,220 千円）

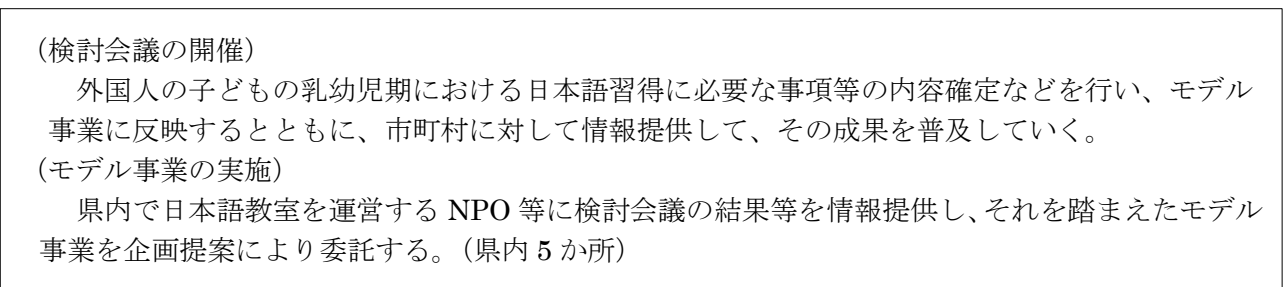
ア 「あいち外国人の日本語教育推進会議」の開催（481 千円）

外国人の日本語学習に関する関係者が出席する会議を開催し、日本語教育を取り巻く状況の把握や課題解決に向けた意見交換等を行い、愛知県における日本語教育を推進する。



イ 日本で子どもを育てる外国人の日本語習得モデル事業（5,734 千円：新規）

子どもの乳幼児期における日本語習得に必要な事項を外国人の保護者に認識させるとともに、保護者自身の継続的学習に導くモデル事業を実施する。

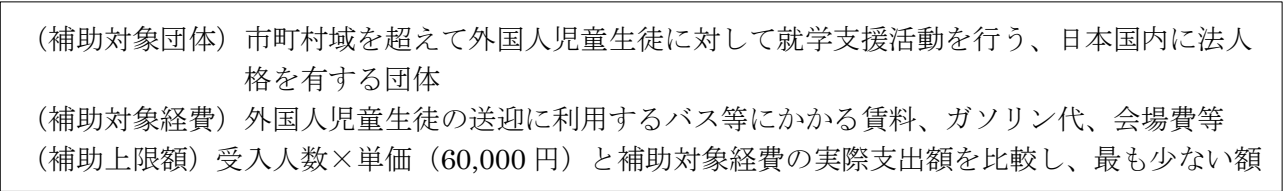


ウ 「外国人児童生徒等による多文化共生日本語スピーチコンテスト」の開催（1,005 千円）

外国人児童生徒等が自分の思いや考えを日本語で伝えようとする意識の高揚を図るとともに、多文化共生に対する理解の促進を図るため、県内在住の小中学校外国人児童生徒等から参加者を募集し、スピーチコンテストを開催する。

(2) 外国人児童生徒日本語教育支援補助金【愛知県実施】（9,000 千円）

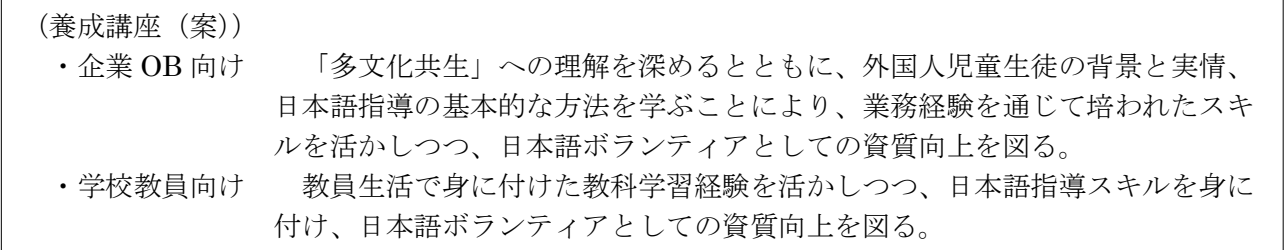
県内の外国人児童生徒の就学支援等を整備するため、市町村域を超えて外国人児童生徒への就学支援活動を行う NPO 等の団体に対し補助を行う。



(3) 愛知県国際交流協会運営費補助金【県国際交流協会実施】（2,490 千円）

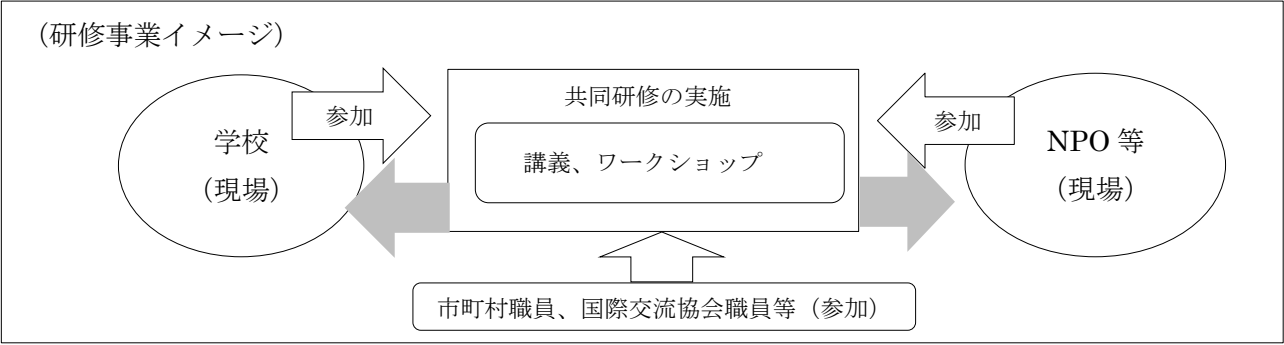
ア 外国人児童生徒日本語指導員育成事業（1,918 千円）

地域の日本語教室の人材不足解消のため、企業や教員の OB を日本語教育の担い手として養成する。



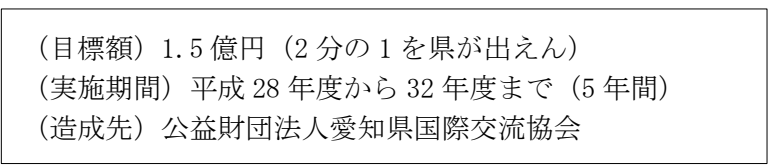
イ 学校と NPO 等との連携による外国人児童生徒指導関係者共同研修事業（572 千円）

外国人児童生徒の日本語教育等に携わる教員、NPO 等がともに情報共有し、体験を話し合う場を設けることにより、相互に持つノウハウを活用して外国人児童生徒への指導が効果的なものとなる研修を実施する。



(4) 日本語学習支援基金出えん金【愛知県実施】（75,000 千円）

平成 20 年度に地元経済界、企業等と協力して造成した日本語学習支援基金を再造成し、外国人の児童生徒に対して日本語教育を行う日本語教室等を支援する。



【参考（県教育委員会対応分）】

小中学校の児童生徒への支援	・日本語教育適応学級担当教員の配置基準拡大（31 人増） ・語学相談員の配置（ポルトガル語 4、スペイン語 5、フィリピン語 2） ・NPO 団体や大学と連携して日本語初期指導教室を運営
教員研修の充実	・日本語教育適応学級担当教員向けの日本語指導・語学研修充実 ・日本語能力に応じた指導のあり方についての研修を実施
高等学校の生徒への支援	・外国人生徒教育支援員の配置